



たのしい絵本と紙しばいの会

- ・ 11月20日(木) 午前10:30～
- ・ 12月4日(木) 午前10:30～
- ・ 場所 馬頭図書館視聴覚室
小さいお子さまのためのおはなし会です。
親子で一緒にお越しください。

読書会

- ・ 12月10日(水) 午後1:30～
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室
テキスト「切羽へ」 井上荒野／著
和やかな雰囲気です。興味のある方はお気軽にどうぞ。



婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 12月13日(土) 午後2:00～
- ・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ
おはなしじょうずなボランティアが昔ばなしの絵本や紙しばいを読んでもくれます。

「翻訳家さくまゆみこさん講演会」

- ・ 11月12日(水) 午後1:30～
- ・ 場所 小川小学校 ・ 講師 さくまゆみこ氏
- ・ 申し込み 馬頭図書館 ☎0287- 92- 5015
「子どもの読書」をテーマに講演会を行います。

工作教室「メリー・フラワー・クリスマス」

- ・ 12月6日(土) 午前10:00～
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室 ・ 講師 小野里優子氏
- ・ 募集人数 15名(先着順) ・ 参加費 一人900円
- ・ 申し込み 馬頭図書館 ☎0287- 92- 5015
自分だけのクリスマス飾りをつくってみよう！



今月の表紙

みんなでジャンプ

回し手を入れて17人が一斉に縄跳びをし、3分間で一番続けて跳んだ回数を競う「みんなでジャンプ」。

一番多く跳んだ行政区はBブロックの第14区で、何と34回。跳んだ選手も回し手も本当にお疲れさまでした。

手芸教室

- ・ 11月22日(土) 午前9:30～
ゆびあみでマフラーをつくろう。
- ・ 参加申し込み 11月20日(木)まで
- ・ 材料費 100円(毛糸を自分で用意してくる人は無料)

生け花教室

- ・ 11月29日(土) 午後1:30～
秋の花をステキに生けましょう。
- ・ 参加申し込み(会員以外) 11月23日(日)まで
- ・ 花代 700円

チャレンジクッキング

- ・ 11月30日(日) 午前9:30～
旬のさつまいもを使ったおやつを作りましょう。
- ・ 参加申し込み 11月27日(木)まで
- ・ 参加費 50円

なかよしひろば

- ・ 12月4日(木) 午前10:00～
ダンボールであそぼう。
- ・ 参加申し込み 11月30日(日)まで
- ・ おやつ代 50円

クリスマスグッズを作ろう

- ・ 12月13日(土) 第1回午前9:30～ 第2回午後1:30～
かわいいクリスマスグッズを作りましょう。
- ・ 参加申し込み 12月11日(木)まで
- ・ 材料費 100円

※お知らせ

上河原農地水保全委員会より小川児童館にサツマイモをいただきました。ありがとうございました。

馬頭図書館・小川図書館の休館日(11/16～12/15)

共通：11月23日(日)、30日(日)

馬頭図書館休館日

11月17日(月)、24日(月)
12月1日(月)、8日(月)
15日(月)

小川図書館休館日

11月21日(金)、28日(金)
12月5日(金)、12日(金)

「児童館」

11月16日～12月15日
のお休み

開館時間 午前9時～午後4時

☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
11/16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	12/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15					

鏡の歴史

現在、鏡はガラス製で化粧道具など私たちの生活の一部として活躍しています。しかし、古代においては今日のよように、誰もが持つことができないモノではありませんでした。

古代の鏡は、青銅（銅とスズの合金）で作られ、現在はさびた状態で古墳などから出土していますが、本来は金色または銀色をしており、姿を映すことができませんでした。

鏡は中国で約3,000年前から戦国時代に普及しはじめ、秦・漢の時代に発達しました。日本へは、弥生時代前期に伝来し、弥生時代後期には小型の鏡が作られるようになります。古墳時代には、全国各地の古墳に副葬品として埋葬され、文様の種類も豊富になってきます。

鏡には、中国から輸入された舶載鏡（中国鏡）と、それをまねて日本で作った仿製鏡（ほうせいきよう）があります。より価値が高いのが舶載鏡です。

『三国志』の中の「魏志倭人伝」には、魏の皇帝より邪馬台国の卑弥呼に金印とともに「銅鏡百枚」が与えられています。このとき「汝の国（日本）の人々に示し、魏が汝を大切に思っていることを知らせなさい」と記載されています。この記述は、鏡が国内の有力者に配られ、国が一つにまとまっていた過程を物語っていると考えられます。

栃木県内で唯一出土している中国鏡は、那珂川町駒形大塚古墳から出土した画文帝四獣鏡と那須八幡塚古墳から出土した夔鳳鏡の二面です。この那須地域よりも東では中国鏡は見つかっていない点から、この地域の特殊性や埋葬された人物像の重要性がわかります。

このように鏡は姿を映す道具というよりも、権力の象徴、政治的な道具として使われていたことがうかがえます。那須の中国鏡もこのような大陸

との状況の中で伝わったと考えられます。平安時代になると、それまでの鏡とは大きく変わり、日本風の自然や動物の文様が施された「和鏡」となります。そして、明治時代には欧米からガラス製の鏡が伝来し一般に普及しました。

現在の、湯津上館で開催中の第16回企画展「那須の渡来文化」では、ご紹介した中国鏡を展示しています。小川館での常設展示とは違い、「鏡」を渡来品として見てみると、また違った雰囲気を感じるのではないのでしょうか。

（なす風土記の丘資料館 学芸員 金子 智美）

第16回企画展「那須の渡来文化」湯津上館で11月24日（月・祝）まで開催中

（月・祝）まで開催中



がもんたいしじゅうきょう 画文帝四獣鏡

いづみえ

おくやみ

（氏名）（父母の名）（住所）

（氏名）（年齢）（住所）

渡邊 蒼 勲	渡邊 孝 士	深澤 優 美	佐藤 海 羽	渡辺 晴 耶	小高 元 帥	江口 桃 愛	高村 真 斗
麻 勲	孝 士	悠 太	誠 次	隆 之	真 寛	幸 太 郎	正 貴
馬 頭	馬 頭	馬 頭	馬 頭	健 武	和 見	小 川	薬 利

深谷 要	海老澤 シツ	笹沼 克 徳	石河 里 子	遠藤 徳 治	大森 庄 作	磯 岩 夫	伊藤 清 美	塚原 昭 一	益子 フミ子	佐藤 繁 一	小林 定 吉	永井 ハルノ	小森 春 吉	大金 貢
（60）	（80）	（66）	（56）	（101）	（72）	（77）	（73）	（78）	（86）	（78）	（89）	（73）	（89）	（88）
馬 頭	馬 頭	馬 頭	健 武	矢 又	矢 又	小 口	北 向 田	富 山	大 山 下 郷	小 川	小 川	小 川	白 久	東 戸 田

9月21日、10月20日 受付分 敬称略

なす風土記の丘資料館の催し

冬休み小中学生向け展示会「丑を考古学する」

期 間 12月6日(土)～21年1月25日(日)
場 所 小川館

オープニングイベント「古代文字講座」

「うし」の文字に関するお話と石のハンコづくりを行います。

期 日 12月7日(日)午後1時30分

場 所 小川館 定員 30名

参加費 300円

申込・問合せ 小川館 ☎0287-96-3366

11月1日現在の人口

（住民基本台帳）

男 9,855人（-3）

女 9,868人（-8）

計 19,723人（-11）

世帯数 6,059（+13）

（ ）内は前月との比較